



倉二だより

学校だより

12月号

令和4年12月1日

舞鶴市立倉梯第二小学校



思いやりの心を

今年は紅葉が美しいとニュース番組で言っていました。気温が8℃を下回り、昼夜の気温差が大きくなる

と紅葉が始まるそうです。学校の近くの木々もいつの間にか赤や黄色になり、遠くの山は水彩絵の具で色を塗ったようにオレンジ色に色づいています。学

校にある、赤ちゃんの手を広げたようなかわいいもみじも、真っ赤に紅葉していました。（「イロハモミジ」というそうです。）今は多くの葉を落としていますが、赤いじゅうたんを敷いたようで、その上を歩くとさくさくと音がします。これはこれでいいなと思います。街路樹の落ち葉が風に吹かれて渦を巻きながら道路を這っているのを見ると、冬のはじめという感じがします。



倉梯第二小学校では12月を人権旬間としています。11月28日（月）は人権集会を行いました。児童会や各学級では人権についての取組や学習をします。明日12月2日（金）の参観日には、全学級が人権学習を行います。この学習をしたから、この取組をしたからといって、人権尊重（自分も周りの人も大切にすること）の気持ちが育つものではありません。毎日の生活の中で少しずつ少しずつ育まれていくものだと考えています。この人権旬間ではその一つの機会にしたいと思います。そして、私たち大人のさり気ない言動が子どもたちの心に大きな影響を与えているという責任を自覚しなくてはならないとあらためて思っています。

先日、雨予報ではなかったのに、登校中に急に雨が降ってきたことがありました。そんな中、自分の肩を濡らしながら1年生に傘をさしかけてあげている高学年の子がいました。また、前の子と間隔が空かないようにそっとランドセルを押しながら歩いている子もいます。優しくしてもらった子はきっと大きくなっても覚えていて、自分がしてもらったように同じように誰かに優しくしてあげるのだと思います。登校したあと、高学年の子は委員会の仕事をします。当番の曜日が決まっていますが、つい忘れてしまい遅くなることもあります。その子も忘れていたのでしょう。慌ててやってきて、「遅くなってごめん。あとは僕がやるから。」と、先に仕事をしていた子に声をかけている場面に出会いました。当たり前のことのようにも思えますが、その当たり前のことがちゃんと言えていることに、「そんなことがちゃんと言えてすごい！」と思わず声をかけました。

学校生活の中では、子どもたち同士のトラブルがあり、指導をすることがあります。しかし、ふとした場面で、心が温まる子どもたちの素敵な様子を目にすることもたくさんあります。きっと私たちの見えていないところで相手を思いやる子どもたち同士の関わりがもっともっとたくさんあるのだと思います。12月も引き続き、地域、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 野田 千鶴 教職員一同

